



ログハウスに寄り添う大木



六角形の家の風景

戸建住宅にはおおまかに分類すると3つのタイプが存在するそうです。一つ目は「作品住宅」と呼ばれるもの。このタイプの住宅はデザイナーのこだわりを最大限に重視して「一品料理」として作り上げられます。二つ目は、「商品住宅」と呼んでいます。この住宅では、様々な要素を「商品」と言えるレベルにまで完成度を高めていきます。要素とは、コンセプト、住まい方の提案、外観デザイン、インテリアの提案といったソフト面、工法、構造、気密性能、断熱性能などのハード面、品質保証、アフターサービス、メンテナンスなどのサービス面、価格です。セールスポイントが明確になっています。ほとんどのハウスメーカーの住宅はこれに属しているといえるでしょう。三つ目が「ローコスト住宅」です。この市場の要素は何をおいても価格です。競合する会社との差別化も必要なのでさまざまな形で自社の優位性を表現しています。

この3グループに大別してみると、市場の好・不況にかかわらず、またマーケットの規模の比率に多少の違いはあっても、どの地方でも常に存在しているのがわかります。(以上参考・三上克俊さんの著書より)

弊社が日頃つくっているのは紛れもなく作品住宅(呼び方はともかく)ということになります。お客様が目にする機会が少ないだけに、少しでも多くの機会をつくらせてできるだけ多くの皆さんに見ていただくと考えています。また、一戸一戸の住まいの質を高め、末長くすんでいただくことを基本的な考え方としていきたいと思っています。作品住宅というのは「高級な住宅」という捉え方ではなく、素材と技術に重点を置いた、手作りの住宅だと考えていただきたいと思ひます。是非、見学にお出かけください。

レトロな空間に暮らす 古色に彩られた住処

設計・監理
高松設計事務所 高松俊秀 先生



上
夕暮れ
あかりが灯る頃

左 キッチン
は特注

リビングより吹き抜けを見上げる



洗面所のポールも棚もモダンです



二階の多目的ホール 梁が見える

古民家風の内装は杉材と漆喰でできています。心からゆったりとくつろげる雰囲気は格別です。古さを感じさせながらも随所にモダンなデザインが生きている若手建築家高松先生渾身の住まいです。

発行者 ご連絡先
秋葉建設(株) 秋葉 忠夫
〒289-2163 匝瑳市南神崎52-1
電話0479-72-0814 FAX0479-72-0824
Eメール master@woody-akiba.com
HP URL <http://woody-akiba.com/>